



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.07

仙北地域で家庭用や業務用のばかり、ヘルスメーターなどを製造しているのが株式会社タニタ秋田(田口和美代表取締役社長)です。同社は、計量器の大手製造メーカー、株式会社タニタのグループ会社です。秋田県と旧仙北町の誘致企業として1973(昭和48)年、株式会社タニタ電気(現・タニタ)秋田工場として設立。1993(平成5)年に本社から独立しました。

同社では、家庭用体重計のほか、メカ・デジタル式のクッキングスケールや尿糖計、睡眠計のような料理や医療で使われる計量器など、各種大きささまざまな「ばかり」をひと月当たり約5万台製造。



「ばかり」で健康をつくる

(株)タニタ秋田[仙北]

製造品目/ばかり、メーター(業務用・家庭用)

従業員数/183人

★今回の案内人は取締役工場長の五十嵐栄作さんです。

製品設計から部品加工、製品組み立て、梱包、出荷までの工程を自社で一貫して行っており、確かな品質の製品を提供できる体制を整えています。また、自社内に顧客向けのコールセンターと製品修理部門を備えているため、初期不良などの製品トラブルに対して迅速に対応できるとともに、寄せられた質問や意見を製品開発の現場にすぐに反映させることができますのが強みです。

健康指向の広がりを受け、美容クリニック向けのヘルスメーターなどの売り上げが好調という同社。はかりを通して世界中の人々の健康づくりに貢献したいと考えています。